

みんなのお茶講座 番外編 「建築とお茶・お米」



講師：富田 崇（トミタ建築設計スタジオ）

日時：2019年12月1日（日）

1回目 10:30- 12:30（10:15 開場）

2回目 14:30- 16:30（14:15 開場）

定員：各回6名（事前予約制）

会費：3,000円（薬草豆乳チャイ／入館料含む）

会場：抱石庵 久松真一記念館

（岐阜市長良高見バス停すぐ／現地集合、解散）

主催：GALLERY CAPTION

お電話かe-mailにてお申込みください。
facebookからも承ります。

tel 058-265-2336（水～日／12:00-18:30）

e-mail caption@mbe.nifty.com

哲学者 西田幾多郎の高弟として知られ、京都大学心茶会を設立するなど、茶道を深く嗜んだことでも知られる岐阜市出身の哲学・宗教学者 久松真一（1889-1980）の自邸が、ほぼそのままのかたちで、記念館として公開されています。

今回は日々の丁寧なくらしのなかから、住宅建築の本質を見出そうとする建築家 富田崇さんとともに、久松真一と父大野定吉の「思想と建築」とが融合した「抱石庵 久松真一記念館」を訪ねます。

建築家の視点から記念館を見学、ご案内いただいた後、富田さんが大切にしているお茶と建築、また一昨年からはじめられた稲作とのつながりを、揖斐川町旧春日村（岐阜）で採集した薬草と湧水を用いた豆乳チャイを味わいながら、お聞きします。

富田 崇 | 建築家

1972年名古屋生まれ。2012年にトミタ建築設計スタジオを設立し、住宅や店舗設計を数多く手がける。現在、名古屋モード学園、名古屋芸術大学非常勤講師。お茶はもとより、古墳としばわんこをこよなく愛する。